

# 平成22年度 定期作況報告

(8月20日現在)

北海道立総合研究機構  
農業研究本部畜産試験場

## . 気象概況

### 気象概況

7月下旬：気温は平年比+1.0 でやや高かった。降水量は平年比277%でかなり多かった。日照時間は平年比50%でかなり少なかった。

8月上旬：気温は平年比+1.9 でやや高かった。降水量は平年比161%でやや多かった。日照時間は平年比81%で平年並だった。

8月中旬：気温は平年比+2.3 でかなり高かった。降水量は平年比241%でかなり多かった。日照時間は平年比149%でかなり多かった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温は高く、降水量はかなり多く推移し、日照時間は周期的に変化した。

	7月下旬			8月上旬			8月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ( )	19.4	18.4	1.0	22.2	20.3	1.9	21.1	18.8	2.3
最高気温 ( )	22.2	22.7	0.5	26.0	24.6	1.4	25.6	23.1	2.5
最低気温 ( )	16.6	14.7	1.9	17.9	16.2	1.7	16.6	14.9	1.7
降水量(mm)	156.5	56.6	99.9	93.0	57.7	35.3	138.0	57.2	80.8
降水日数(日)	8	5.7	2.3	4	4.4	0.4	4	4.8	0.8
日照時間(時間)	19.6	39.1	19.5	34.3	42.1	7.8	58.7	39.3	19.4

注1)各数値は旬の平均または合計。 印は減を示す。

注2)平年値は前10年の平均値。

## . 作況

### 1. 牧草

#### 1)チモシー(採草)

作況 2番草：不良

3番草：平年並

事由：

2番草の刈り取り時の草丈は59cmで平年より13~17cm低かった。乾物収量の対平年比は2年目草地在62%、3年目草地在67%、両草地平均で64%であった。以上のことから、作況は不良である。

	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2番草収穫日(月.日)	8.6	8.7		8.6	8.7	1
草丈(cm)	59	76	17	59	72	13
生草収量(kg/10a)	703	1349	646	611	1098	487
乾物率(%)	24.0	20.6	3	25.0	21.0	4.0
乾物収量(kg/10a)	168	273	105	152	228	76
同上指数	62	100		67	100	-
1~2番草通算(kg/10a)	775	962		780	850	
同上指数	81	100		92	100	-

注)平年値は、2,3年目草地ともに、前7年のうち、最良年(H18)と最不良年(H21)を除く5年平均値。

また、8月20日現在の3番草の草丈は9～10cm高く、目下の作況は平年並である。

	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
3番草草丈(8月20日)(cm)	37	28	9	38	28	10

注)平年値は、2,3年目草地ともに、前7カ年のうち、最良年(H18)と最不良年(H21)を除く5カ年平均値。

2)オーチャードグラス(採草) 作況 3番草:平年並

事由:

8月20日現在の草丈は5～7cm高く、目下の作況は平年並である。

	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
3番草草丈(8月20日)(cm)	69	62	7	65	60	5

注1)平年値は、2年目草地在前7カ年のうち、最良年(H15)と最不良年(H21)を除く5カ年平均値。3年目草地在前7カ年のうち、最良年(H15)と最不良年(H20)を除く5カ年平均値。

注2) は減を示す。

## 2. サイレージ用とうもろこし

作況:やや良

事由:

7月中旬までの生育が平年を大きく上回っていたことから、絹糸抽出期は平年より10日早い7月26日であった。7月10日および12日の強風により倒伏が発生し、この影響で稈長が平年より11cm低くなったものと考えられるが、現在倒伏はほぼ回復している。以上を総合的に判断して現在の作況はやや良である。

項目	本年	平年	比較
雄穂開花期(月日)	7.27	8.5	9
絹糸抽出期(月日)	7.26	8.5	10
稈長(cm)(8月20日)	244	255	11
葉数(枚)(8月20日)	15.9	16.4	0.5

注1)平年値は前6カ年のうち平成21年(凶年)を除く5カ年の平均値。

注2) 印は早または減を示す。

注3) 供試品種は「チベリウス」。